

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 地域でくらす会 いくのさん家	理事長	井上徹	法人・事業所の特徴	法人の理念 <ul style="list-style-type: none"> ・関係性こそ、その人らしさ ・どう生きたいか、に立ち返る ・ひとりの支援は、地域を変える この理念をもとに、高齢者が自分らしく生活できるよう支援していきたい。そのために住み慣れた地域での社会生活が孤立してしまわないように信頼関係を作り、関係を深めていきたい。事業所の中で支援をするだけでなく本人を取り巻く様々な関わりが途切れてしまわないように努力する。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 大郷いくのさん家	管理者	瀧村 篤		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	0人	1人	1人	1人	1人	2人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	初回の為なし	初回の為なし	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的でない計画が多いと感じました。 ・発言者の名前も書いておくと良いのでは？ ・できていると評価している点についても本当にそうなのか？と考える事も必要だと思います。 ・計画を実施したあとに検証する機会をつくってフィードバックできるようにしてほしいと思います。 	事業所評価で検討した計画を再度具体的に練り直す。出来ている点についても検証をするために一覧表を作成してみる。(事業所自己評価表を使用) 3ヶ月に1度進捗状況を検証する。毎月の会議で時間をとって多くの職員で確認する。
B. 事業所のしつらえ・環境	初回の為なし	初回の為なし	<ul style="list-style-type: none"> ・照明もやわらかい感じがして入りやすい印象があります。 ・過ごしやすい環境になっていると思います。 ・入りやすい環境になっていると思います。ですが、入りやすいのは出やすいともいえるので注意が必要だと思います。 	玄関のセンサーや建物横の扉の鍵などに不備がないか定期的に確認することはもちろん、行方不明になったときの事を想定して訓練をおこなう。また近隣の方にも協力を得られるように働きかける。
C. 事業所と地域のかかわり	初回の為なし	初回の為なし	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での認知度は低いと思います。もっと地域に出て行けば良いのかなと思います。 ・地域の施設としては話がしやすいと感じています。 	年間行事なかで地域に出向く機会を計画する。他事業所のように趣味などを通して地域と繋がれるようなケアプランを作成し実行する。そのた

			<ul style="list-style-type: none"> ・趣味などを通して地域とつながれるようなケアプランをたてたりしている事業所もあるので真似してみたらどうでしょうか？ 	<p>めに“私の暮らしまとめシート”（居宅サービス計画書に代わる物）をもっと詳しく作成する</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	初回の為なし	初回の為なし	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎などで本人のゆかりのあるところに寄ってみるだけでも良いのではないですか？ ・共生ホームを活用してみたらもっと面白い事ができるのではないのでしょうか？ 	<p>自宅周辺のゆかりのあるところに本人と寄ってみる。会話の中で本人の暮らしをうかがい知ることができる。</p> <p>吉岡温泉町にある共生ホームを活用して地域へ出向いて地域資源を見つけたり地域のことを知る。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み	初回の為なし	初回の為なし	<ul style="list-style-type: none"> ・地域へ出掛けて行ってレクリエーションをするのはどうですか？そこで人と繋がりが持てると思います。 ・こういう会議で地域課題について話をするというのは難しいな、と感じます。特に事例検討などは勝手にするわけにはいかないと思います。 	<p>地域へ出掛けてレクリエーションをする。地域の人にも参加してもらえるような企画をして回覧板などで周知してもらおう。</p> <p>地域課題の話は難しいこともあるが、運営推進会議が施設の事だけを話す場にならないように議題の配慮をする。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	初回の為なし	初回の為なし	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能は365日24時間なので災害の時などは頼りに出来る存在なのではないでしょうか？ ・農村なので都市部と比べると対応は変わってくると思いますが、道が土砂などで塞がれて孤立してしまう事などがあるかもしれませんね 	<p>災害時に機能できるように避難訓練の内容を住民と一緒に考える。</p> <p>湖南地区での過去の災害の事などを調べて備えをしてみる。</p>

